

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26186 光と色を武器に、ブラックホール天体へ挑戦しよう！



開催日：平成26年8月8日(金)

実施機関：大阪教育大学
(実施場所) (天体観測室・地学実験室)

実施代表者：福江 純
(所属・職名) (理科教育講座・教授)

受講生：高校生34名

関連URL：[http://quasar.cc.osaka-](http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/)
<http://osaka-kyoiku.ac.jp/unive>

【実施内容】

・工夫点、留意点

プログラムでは、ブラックホール天体現象について、講義と実習を組み合わせ、関心と理解を深めるようにした。

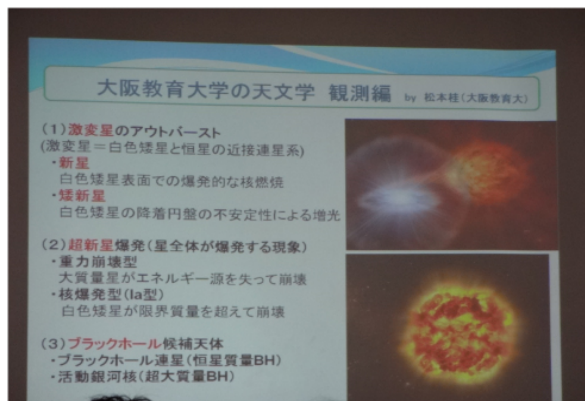
・スケジュール

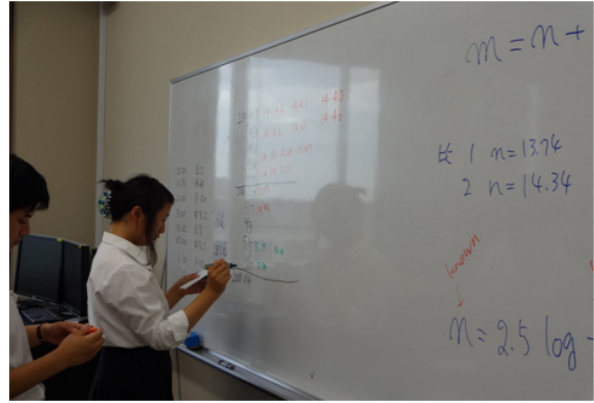
- 10:00 受付
- 10:30 開講式
- 11:00 導入的講義
- 12:00 昼食と自己紹介など
- 13:00 実習パート1
- 14:30 天体望遠鏡の見学など
- 15:00 実習パート2
- 16:30 結果の解釈と議論
- 17:00 修了式
- 17:30 終了



・実施の様子

講義ではブラックホール活動天体について概論など導入的講義を行った。
実習1では、光のスペクトルと、星のスペクトル分類に関する実習を行った。
実習2では、ブラックホール活動天体の実際の観測データを測光解析し、
参加者各自がグラフ化し、何が読み取れるか議論した。





・事務局との協力体制

学術連携課がJSPSとの連絡、受付対応、参加者との事前連絡、実施代表者との連絡調整、実施期間中の庶務、事後の事務処理等について、支援・協力を行った。
財務課が委託費の管理と支出報告書の確認を行なった。

・広報体制

総務企画課が本事業に関するHPを大学のサイトに掲載した。
学術連携課が近隣の高校へ案内を郵送した。

・安全体制

実習中は、教員と補助学生が安全に周到的な注意を払った。
実施者・実施協力者・受講者すべてに、大学が加入している保険が適用された。
実習終了後も、安全確保に十分配慮した。

・今後の発展性、課題

今年度は予想外に申し込みが殺到し、定員の2倍近くとなったが、
相当な努力をして全員を受け入れることとした。
来年度も実施するなら、実習パソコンを増やすなど、体制を検討する必要がある。

【実施分担者】

松本 桂 理科教育講座・准教授



【実施協力者】 6 名

【事務担当者】

一橋 史人 学術連携課 研究協力係員